



品質は語る……

白松が モナカ本舗

ご成長のお祝に
『七五三』

鯛(練切り)

鶴(雪平)

鈴(饅頭)

数量
限定

1函3個入 540円

※「七五三」は、直営店にてご用意をお待ち申し上げております。

モナカ・ヨーカンの全国発送を承ります。

お歳暮のお電話申し込み

0120-008-940

※受付時間は8:00~17:00となっております。

モナカ・ヨーカンの全国発送を承ります。0120-008-940

※受付時間は8:00~17:00となっております。

<http://www.monaka.jp/>

無料配達地域ご案内[直営店受付のみ]仙台・岩沼・名取・多賀城・塩釜(離島を除く)・石巻(旧市内)・大崎(旧古川市内)・札幌

さらに、長町―秋保温泉間には、市電が開業する以前から秋保電鉄(私電)が走っており、秋保電鉄と市電の「連絡乗車券」もあったそうですよ。いくらかの割引きがあったのでしよう。仙台中心部から、市電と秋保電鉄を乗り継いで秋保温泉へ行けたなんて、ちよつとうらやましい気がします。中心部と長町を路面電車で結ぶことは、仙台の街を広げる都市計画そのものだったのですね。昭和34(1959)年8月には広瀬橋が架け替えられて、右の写真のように市電もクルマと一緒に走るようになりました。長町線は、市電が廃止になる昭和51(1976)年まで、通勤通学、買物にと市民に愛されました。※ここに載せた路線図は、昭和49(1974)年11月のものです。

*取材協力 仙台市電保存館(仙台市交通局)



※写真提供:河北新報社

昭和39年頃の長町商店街

長町駅前
長町車庫前



昭和40年頃

*写真は「昭和史とともに 仙台市電―その50年」(仙台市交通局刊)より

電車と車が一緒に橋を渡ってる!!
この写真は仙台の何処?

答えは広瀬橋。

大正15(1926)年に開業し、仙台の中心部を走りはじめた路面電車は、徐々に郊外へと延びてゆきました。そのひとつが、長町方面へと向かう長町線です。開業当初は荒町までの1・18キロが敷設されただけでしたが、昭和7(1932)年11月から始まった市電第2期工事によって、昭和11(1936)年12月、長町駅まで4・2キロが全通しました。昔の道路は今のようによくありません。路面電車を走らせるためには、道路を広げたり、新たに道路を設けたりしなくてはならず、広瀬川を渡るために、当時の広瀬橋に平行して、電車の専用橋まで架けています。そこまでして長町へと延ばした理由は「乗客を増やして経営安定を図るため」と、仙台市交通局編の「仙台市電」に記されています。長町は、仙台の南の玄関口として、藩政時代からにぎわっていた地域ですから。



[長町線]

中央三丁目から長町駅まで4.2キロの路線。大正15(1926)年に一部開通。昭和11(1936)年12月全通し、昭和51(1976)年まで存続した。



長町線と循環線の交差点を走る市電(南町通り・東五番丁)